

令和3年度

埼玉県県土づくり
優秀委託業務表彰

彩の国  埼玉県

都市整備部・下水道局

式 次 第

日 時 令和3年11月18日(木)
15時00分～15時30分
場 所 知事公館 大会議室

1 開 会

2 表 彰 状 授 与

3 式 辞

4 受 賞 者 代 表 挨 拶

5 閉 会

埼玉県県土づくり優秀委託業務表彰 受賞者

【都市整備部】

【優 秀 賞】

| | |
|------|--|
| 受賞者 | 株式会社龍設計 |
| | 代表取締役 佐々木 到 |
| | 管理技術者 佐々木 到 |
| 業務名 | 所沢児童相談所事務所棟ほか改修工事設計業務 |
| 委託場所 | 所沢市並木 1-9-2 |
| 業務概要 | 事務所棟ほか建物の改修工事に係る実施設計 |
| 受賞理由 | 本業務は複数の対象建築物、子供の居住用建築物とアスベスト除去の安全性の配慮など業務量が多く難易度の高い設計であった。調査では実際に金属屋根面に登って目視や計測を行い、写真等を使って分かりやすく報告書をまとめた。また、成果品は棟ごとに図面等をまとめて、工事発注時の施設の状況に応じて組み合わせできるように作成した。 |
| 発注課所 | 営繕課 |

| | |
|------|---|
| 受賞者 | 株式会社永塚建築設備設計事務所 |
| | 代表取締役 永塚 謙司 |
| | 管理技術者 永塚 謙司 |
| 業務名 | 浦和北高校普通教室棟快適HS施設整備（トイレ）工事設計業務 |
| 委託場所 | さいたま市桜区五関 595 |
| 業務概要 | 普通教室棟のトイレ改修工事に係る実施設計 |
| 受賞理由 | トイレ改修において、従来の鋼管から新たに樹脂管などの資機材類を導入した場合のメリット・デメリットについて、新材料の動向や特性に係る十分な知見をもとに、コスト面をはじめ多角的な見地から企画・提案を行った。施工性向上による工期短縮とコスト縮減を同時に実現することで、安全で快適な教育環境を提供したいという強い熱意が感じられた。 |
| 発注課所 | 設備課 |

| | |
|------|--|
| 受賞者 | 株式会社松下設計 |
| | 代表取締役 松下 充孝 |
| | 管理技術者 増田 貴幸 |
| 業務名 | 熊谷児童相談所建設工事設計業務 |
| 委託場所 | 熊谷市箱田 5丁目 13-1 |
| 業務概要 | 児童相談所新築工事に係る基本設計及び実施設計業務 |
| 受賞理由 | 施設の特殊性から開放する機能と閉鎖する機能を併せ持つ建物であるが、中庭を活用し、採光など個別室の配置にも工夫が見られた。また、高効率設備機器の採用で、環境負荷の低減やコスト縮減を図りつつ、周辺環境に馴染むデザインとした。複合用途である児童相談所の設計において、施設関係者からの要望に対して調整を重ね、見やすく整理された成果品とした。 |
| 発注課所 | 営繕・公園事務所 |

【奨 励 賞】

| | |
|---------|---|
| 受 賞 者 | 株式会社アルク設計事務所 |
| | 代表取締役 田中 芳樹 |
| | 管理技術者 田中 芳樹 |
| 業 務 名 | 県東部地域特別支援学校（仮称）整備工事実施設計業務 |
| 委 託 場 所 | さいたま市岩槻区馬込 2 4 2 6 - 1 |
| 業 務 概 要 | 県東部地域特別支援学校（仮称）新築工事に係る実施設計 |
| 受 賞 理 由 | 休校していた既存施設の有効活用として、限られた敷地内に校舎を増築するという難易度の高い設計業務であった。基本設計で求められた設計内容を事業課と具体化し、より施設利用者の安全性、利便性に配慮した設計をまとめ上げた。また、工事発注を見越した成果品のまとめを行い速やかな発注業務が行えるように設計図書等を完成させた。 |
| 発 注 課 所 | 営繕課 |

| | |
|---------|---|
| 受 賞 者 | 株式会社宮下設計事務所 |
| | 代表取締役 宮下 光芳 |
| | 管理技術者 宮下 光芳 |
| 業 務 名 | 所沢高校給食室解体工事及び新築工事設計業務 |
| 委 託 場 所 | 所沢市久米 1 2 3 4 |
| 業 務 概 要 | 給食室の建物の改築工事に係る実施設計 |
| 受 賞 理 由 | 設計する建築物の規模に対して関係機関や法手続きが多く煩雑であったが、既存の状況調査及び報告を適切にとりまとめ、発注者、施設管理者、市役所と計画的に調整を行い遅滞なく業務を遂行した。また、想定される厨房の調理機器や食堂の座席の配置を具体的に示すことにより施設利用者、保健所等との協議を円滑に進め、要求事項を漏れなく設計に反映させた。 |
| 発 注 課 所 | 営繕課 |

| | |
|---------|--|
| 受 賞 者 | 晃設備設計事務所 |
| | 代表者 及川 晃 |
| | 管理技術者 遠藤 貞行 |
| 業 務 名 | 熊谷スポーツ文化公園放送設備改修工事ほか設計業務 |
| 委 託 場 所 | 熊谷市上川上 3 0 0 ほか |
| 業 務 概 要 | 陸上競技場の放送設備ほか改修工事に係る実施設計 |
| 受 賞 理 由 | 広大な敷地を、熱意をもって綿密に調査し、設計をまとめた。大規模空間の競技用音響設備について、現状の測定とシミュレーションにより音響効果の見える化を行い、その結果を設計に反映した。施設利用者が直接操作する放送卓等については、利用状況を正確に調査したうえで機器を選定し、バリューアップに寄与した。 |
| 発 注 課 所 | 設備課 |

| | |
|------|---|
| 受賞者 | 株式会社金子設計 |
| | 代表取締役 金子 和巳 |
| | 管理技術者 木村 邦房 |
| 業務名 | 所沢西高校防音校舎復温除工事設計業務 |
| 委託場所 | 所沢市北野新町2-5-11 |
| 業務概要 | 普通教室棟及び特別教室棟の空調設備改修工事に係る実施設計 |
| 受賞理由 | 防衛省が定める防音レベルを実現できるよう換気及び空調計画を作成し設計する本業務において、複雑な指定条件や仕様を正確に反映させた設計を行った。業務を進めるにあたっては、各職種間で不整合がないよう多角的な視点から設計に取り組み、また、工事期間中における学校運営への影響を最小限に抑えるべく工事エリアの縮小及び工期短縮を図っていた。 |
| 発注課所 | 設備課 |

| | |
|------|--|
| 受賞者 | 株式会社ジェーエステック |
| | 代表取締役 中尾 毅 |
| | 管理技術者 五十貝 哲彦 |
| 業務名 | 雨水排水施設等実施設計業務委託（R2-2） |
| 委託場所 | 区6-98号線外／八潮南部西地内 |
| 業務概要 | 土地区画整理地内の雨水及び汚水管渠築造工事のための測量及び詳細設計 |
| 受賞理由 | 既設水路を横断する箇所において、慎重かつ丁寧な検討がなされていた。用地の制約等からやむを得ず既設ボックスカルバートの削孔となったが、構造上問題がないことや止水性などメーカーによく確認し検討を重ね、適切な提案であった。更には、路線の曲がり点において、曲げ管を一部使用することで特殊人孔の数を減らし、コスト縮減につなげる観点も反映していた。 |
| 発注課所 | 八潮新都市建設事務所 |

（受賞者 敬称略）

【下水道局】

【優 秀 賞】

| | |
|---------|--|
| 受 賞 者 | 共和コンサルタント株式会社 |
| | 代表取締役 小山 一裕 |
| | 管理技術者 縄田 圭司 |
| 業 務 名 | 右岸流域新河岸川北幹線（徒歩橋）耐震診断業務委託 |
| 委 託 場 所 | 比企郡吉見町大字荒子地内 |
| 業 務 概 要 | 河川を横断する下水圧送区間の管渠耐震化の必要性を診断 |
| 受 賞 理 由 | 診断にあたり、不足する資料を補うための追加調査として試掘調査を提案するなど、精度向上に向けた積極的な取り組みにより、信頼性の高い解析結果が得られた。また、対策案についても現場条件を適切に反映し検討経緯も含め良くまとめられていた。さらに、今後実施する設計業務への申し送り事項を記載するなど本事業に対する熱意が見られた。 |
| 発 注 課 所 | 荒川右岸下水道事務所 |

| | |
|---------|---|
| 受 賞 者 | 株式会社ジェーエステック |
| | 代表取締役 中尾 毅 |
| | 管理技術者 五十貝 哲彦 |
| 業 務 名 | 古利根流域菖蒲第1幹線ほか人孔浮上対策設計業務委託 |
| 委 託 場 所 | 久喜市久喜東5丁目地内外 |
| 業 務 概 要 | 地震時の地盤液状化に伴う人孔浮上を防止するための詳細設計 |
| 受 賞 理 由 | 人孔浮上対策工法の選定にあたり、周辺道路の交通状況を入念に調査し、建設コストや現場周辺への影響が少なくなるよう最適な工法選定に努めた。 また、施工時に手戻りが生じないよう埋設物調査を入念に実施した。交差点付近の施工で迂回が必要となる場所について、事前に迂回計画図を作成し、工事着手時に負担が軽減できる資料を整理した。 |
| 発 注 課 所 | 荒川左岸北部下水道事務所 |

【奨励賞】

| | |
|------|--|
| 受賞者 | 株式会社シーエスエンジニアズ |
| | 代表取締役 大輪 英史 |
| | 管理技術者 江口 真哉 |
| 業務名 | 南部流域芝川準幹線管渠耐震診断業務委託 |
| 委託場所 | さいたま市中央区新都心地内ほか |
| 業務概要 | 鉄道軌道下の下水道管渠の耐震化の必要性を診断 |
| 受賞理由 | JR協定資料及び工事図書等を入念に精査し、当時の計画の経緯や、施設状況を丁寧に把握、整理したうえで耐震診断に臨んだ。耐震補強対策の検討については、特殊な場所であるため根本的な対策が困難となる中、複数の対策案を提示した。また、周辺状況を確認し緊急時のバイパスルートを提案するなど現実的な提案を盛り込んだ成果とした。 |
| 発注課所 | 荒川左岸南部下水道事務所 |

| | |
|------|---|
| 受賞者 | 株式会社地研コンサルタンツ |
| | 代表取締役 田口 昌弘 |
| | 技術管理者 阿部 博 |
| 業務名 | 北部流域元荒川幹線人孔地質調査業務委託その1 |
| 委託場所 | 行田市小敷田地内外 |
| 業務概要 | 地震時の地盤液状化に伴う人孔浮上を診断するための地質調査 |
| 受賞理由 | 人孔構造の現地調査や人孔建設時の資料を基に、地盤液状化の有無を判定し、液状化しない人孔は工事優先度が低いいため別の場所での作業を提案する等、事業内容を理解した上で業務に的確な提案がなされていた。また、業務対象が点在しているため、4機関の道路管理者と13機関の道路占有者と協議を要したが、綿密に事前準備を行い、遅滞なく業務を完了させた。 |
| 発注課所 | 荒川左岸北部下水道事務所 |

| | |
|------|--|
| 受賞者 | 株式会社東陽都市計画 |
| | 代表取締役 齊藤 実 |
| | 管理技術者 中村 昌一 |
| 業務名 | 中川流域処理場2号水処理施設防食設計業務委託 |
| 委託場所 | 三郷市番匠免3丁目地内 |
| 業務概要 | 中川流域処理場2号水処理施設を対象とした防食工事を行うための実施設計 |
| 受賞理由 | 1990年竣工の水処理施設を対象とした防食工事の実実施設計であったが、既往図面の多くをCAD化し、設計図面を作成することで、工事発注に必要な資料をわかりやすくとりまとめた。また、防食工事の施工計画立案に際し、既設の機械設備を移設しなくて済む仮設計画を検討、工夫することで、既存設備への影響軽減とコスト縮減が図られた。 |
| 発注課所 | 中川下水道事務所 |

(受賞者 敬称略)

